

A6792 キハ37 境線・朱色5号 2両セット

予価:10,300円(税別)

JANコード:126653 カートン内入数:24

A6793 キハ37・旧久留里線色 非冷房 2両セット

予価:10,300円(税別)

JANコード:126660 カートン内入数:24

商品形態 Nゲージ塗装済完成品(素材:ABS樹脂製 対象年齢:14歳以上 2両用紙箱入り)

実車

国鉄では地方線区用としてキハ40系を製造していましたが、より低コスト・高効率の車両を開発して1983(昭和58)年に登場したのがキハ37です。裾絞りが省略された車体は長さが若干短くなったほか、将来のワンマン運転を見越した形の客用扉配置が採用されるなどの特徴があります。機関は船舶用を改良したDMF13Sが採用され、国鉄気動車では初めて過給器つき直噴型となりました。トイレ付の0番台が2両、トイレなしの1000番台が3両製造された後、想定された投入線区の第3セクター化が進行し、量産車が登場することはありませんでした。

国鉄分割民営化後にはJR西日本にはこのうち2両が承継され、加古川線で活躍した後は朱色1色の首都圏色に塗り替えられて米子運転所に転属し、境線、山陰本線などで活躍しました。残り3両はJR東日本に継承され、新製から引退まで久留里線で活躍しました。1988(昭和63)年から順次クリーム色をベースに青色のストライプを配した「久留里線色」に塗装変更されました。

商品概要

- ・マイクロエース気動車シリーズの更なる充実
- ・近郊型気動車キハ37のバリエーションモデル
- ・ヘッドライト、テールライト、前面表示器点灯。LED使用(ON-OFFスイッチ付)
- ・フライホイール付動力ユニット搭載

朱色5号1色・首都圏色のキハ37



- ・窓のHゴムは黒
- ・屋根上に無線アンテナが付いた末期の姿
- ・コンパクトなレイアウトに最適な2両編成

JR西日本承認済

編成図 A6792

キハ37-1 キハ37-1001

ライト (M) ライト

クリーム+ブルーの旧久留里線色



- ・屋根上にクーラーが無い非冷房時代を再現
- ・コンパクトなレイアウトに最適な2両編成
- ※側面JRマークの位置は写真と異なります

JR東日本商品化許諾済

編成図 A6793

キハ37-2 キハ37-1002

ライト (M) ライト

オプション 幅広室内灯:G0001/G0002/G0003/G0004, マイクロカプラー自連・黒:F0003

付属品 行先シール